

## 河北水・土・里 POWER フェスティバルにて研究成果の広報活動を実施しました

水理工学研究領域水利制御グループ 人見忠良

10月6日(日)に寒河江川土地改良区の主催で山形県河北町にて開催されました「河北水・土・里 POWER フェスティバル」において研究成果の広報活動を実施しました。

当研究部門では同町にて「スマート農業実証プロジェクト・多面的機能向上スマート水管理実証コンソーシアム」や「AI等の活用による利水と治水に対応した農業水利施設の遠隔監視・自動制御システムの開発」において、「田んぼダム」、「冬水田んぼ」および「ゲートや給水口、落水口の自動化」の実証試験や、「スマート農業生産米の付加価値販売調査」に取り組んでいます。本フェスティバルでは、これらの成果をパネルや模型を使って、来場者に説明しました。

当日は天候にも恵まれ、多くの方々がブースにお立ち寄りくださりまして、農業のスマート化や多面的機能の向上に資する取組みの説明に耳を傾けていただけました。



模型を使って田んぼダムの説明を行いました



スマート農業関連のパネルを展示しました



模型を使って自動ゲートの説明を行いました



隣接する田んぼでは、白熱のティラノサウルスレースが行われました